

2024年度 学校法人東京滋慶学園 埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校
学校関係者評価委員会 議事録

日時	2024年6月20日（木） 9：50 ～ 12：00 ※実会議時間
出席者	・溝上 俊亮 様 (社会福祉法人清幸会理事 兼 統括管理者) ・内田 有紀 様 (保育士科 (昼間主コース) 保護者) ・山田 雄俊 様 (大宮区仲町三丁目自治会 防犯部長) ・内田 三千則様 (医療法人昭友会 介護老人保健施設 いづみケアセンター 施設長) ・島村 和宏 様 (社会福祉法人宮原ハーモニー理事長) ・山本 正隆 様 (有限会社ドゥーブルシェフ代表取締役) ・鈴木 隆之 様 (株式会社ジェイオフィス東京事業部長) ・青木 猛正 (学校長) ・結城 健二 (滋慶学園EAST運営本部長 兼 事務局長) ・前川 雄大 (事務部長) ・北村 健明 (教務部長) ・村田 和也 (保育士科・社会福祉士養成科 学科長) ・奥山 裕太 (言語聴覚士科 学科長) ・大西 加恵 (調理師科 学科長) ・境野 あゆみ (高校・キャリアセンター長) ・田村 仁美 (介護福祉士科 学科長代理)
次第	1. 学校長挨拶・委員紹介 2. 2023年度 事業報告 3. 2023年度 自己点検自己評価報告 4. 学生よりショートプレゼン 5. 閉会のご挨拶
内容	1. 学校長挨拶・委員紹介 各委員より自己紹介 2. 2023年度事業報告 ・2023年度 組織目的 ・2023年度学生募集結果 (2024年4月入学者数) ・教育①：2023年度 退学者数 (率) ・教育②：2023年度 進級率 目標:92.2% ・教育③：2023年度 国家試験結果 ・就職：2023年度 就職内定率 100% 3. 2023年度自己点検自己評価報告 (1) 教育理念・目的・育成人材像 事業計画 建学の理念に基づいて 事業計画の作成は、スタート式にて全職員で作成している 目指す人材像 社会人基礎力 7つの基本行動 主体性 国家資格 学生に主体性と話をしている。教職員も主体性をもって行動するように心がけている (2) 学校運営

-
- ・ 職員の目標管理について
個人目標は上長とフィードバック
チーム目標を達成し学校目標を達成することは、学生への還元することになると考えている
 - ・ 個人情報
情報システム 学内からのアクセスのみとなっている 情報漏洩対応を徹底している

★コメント

<島村様>

人材育成理念 目標だけでなく日々の振り返り参考になる。

ICT 教育は学校教育の方が高くて、現場の方が低いのではないかと。

ペーパーレスの進め方を養成校から指導してもらえると、そこで産学連携になるのではないかと。

<内田様(いづみケアセンター)>

記録について 介護の業界での外国人でも記録ができるように ICT は便利。夜勤にインカムを使用するようになった。デイケア送迎システムも IT 化している。ICT を導入する中で人手不足も解消するのではないかと

<溝上様>

介護業界はピンキリではないかと。課題に対してどう向き合うのか。

対人援助職は受け身の人が多い。ICT 導入も困難なことが多い。

学生には、ICT を教えられるようになってもらえると嬉しい。

<鈴木様>

昨年、福祉と保育、医療、調理製菓が統合されて共通する理念はあれど、それぞれの業界の融合は難しかったのではないかと

バランス感覚に関して心がけたことは？

<大西>

学校のルール 違う分野がある中で職業というより学校のルールを統合することが難しかった

<奥山>

言語聴覚士にとっては利点が多い。嚙下→調理師科との連携。高齢領域と小児にも関わるのでそれぞれの分野に触れることは学問として利点の多さを感じる

(3) 教育活動

- ・ ICT ツールを活用した授業展開
Teams→学生とのコミュニケーションツール 1年生 生活支援技術Ⅱ技術
Sherepoint→インターネット google yahoo 等と同じ扱い
保育士科の事例 (実習資料や欠席報告)
Forms
 - ・ 調理師科2年生卒業制作の取り組みについて
ブラックバス/アメリカザリガニ外来種をおいしく調理
 - ・ 学生プレス『スター制度』
学生は OC を運営している
 - 【目的】社会から求められる人財になる
 - 【目標】スター制度
 - 【目的】次年度リーダーとなる学生育成
-

★コメント

<山本様>

デジタルの世代はデジタルからアナログを入れてくる。物を考えない

退職代行から連絡がきた 本人が目の前にいるのにデジタルからアナログの間で悩んでいる難しいところにいる

彼らが社会に出て何を起こしたか。デジタルは便利だけど、人として何ができるかというところが大切。アナログで何ができるか。

<内田様>

学生にとってスマホは便利で良いとおもう

現場はコミュニケーションが大切になるので、コミュニケーションも大切にしてほしい

(4) 学修成果

- ・就職希望者 100%就職を達成
 - 第一専門職 社会福祉士のみ 96% 他は 100%
 - 国家試験の合格率
 - 様々な学生がいる中での対策が重要
 - 卒業後離職率
 - 福祉 1% 調理 3%

★コメント

<内田様(保護者)>

学校の授業風景や現場実習の際に見られるといいなと思います。

(5) 学生支援

200名の卒業生が集う同窓会を実施

(6) 教育環境

施設・設備 老朽化した壁紙やエントランス部分について修繕

学生分の備蓄食料を用意している

(7) 学生募集と受け入れ

近年高等学校との関係が薄れていった

高等学校との信頼関係構築のために高校センターを設置

【調理師科】

マーケットも鑑み、募集定員 80名から 40名に変更した。

しかし、80名を充足

★コメント

<内田様(いづみケアセンター)>

2~3年前滑川総合高校の介護福祉士を目指す生徒が実習に来た

進学先を埼玉福祉ではなく県内の他校に決めたとのことで残念だった。

<溝上様>

就職率 第一希望先が 100%になれば、売りになるのでは？

OG OBのお子さんが入学しているのも売りになるのでは？

高校に求人を持っていくと介護は3K,5Kが蔓延っている。年収で出すと大きく出る
言語聴覚士の国家試験合格率が気になる。

<奥山>

入学前の基礎学力を入学後にどうカバーするか

(8) 財務

学園の関連企業と収支の確認を行っている。

(9) 法令順守

情報公開をHPで行っている

学校の透明性を大切にしている

(10) 社会貢献

・地域貢献①

・オレンジカフェ/販売実習

・さいたま市私立保育園協会と産学連携事業

現場に出たいというニーズがある。

クラスのグループ単位で動いている

実習だと経験を積んでいかなければならないが、その前現場に出たいというニーズを叶えた授業

・大宮例大祭

・埼玉県外国人介護職員応援セミナー

・SCWクワイア

・きょうされんボランティア

・全国大会を大宮ソニックで開催

介護福祉士科1, 2年生合同でボランティアに行った。

・春祭り

介護福祉士科2年生が地域の方々を及びした。

集客200名

★コメント

<山田様>

大宮例大祭の大宮小学校の防災に協力している

<鈴木様>

埼玉福祉は地域の皆様とのつながりを感じる

地域連携をしている学校は多くあるが、埼玉福祉はもっと広く深く感じる。今後も続けて欲しい

4. 学生よりショートプレゼン

調理師科2年生によるショートプレゼン

本日の実習授業で作ったソーセージを委員に提供・試食

★コメント

<溝上様>

卒業前からこんなにおいしいのを作れるなら今後が楽しみです。

5. 閉会のご挨拶

建学の理念+4つの信頼を大切にしている

学校の存在する意義とは？⇒社会に貢献していく

学園全体で学生700人くらい減少している⇒多くの人材を社会に還元できない

少子化の影響でマーケットが縮小していく、業界と連携 業界がつながっていくことが人財減少を防いでいくと考える
